

平成 29 年 月 日

神奈川県東部漁港事務所
所長 鈴木 勲生 殿

スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公
(グループ代表)
スバル興業株式会社
代表取締役 専務取締役 松丸 光成

本港特別泊地及び本港環境整備施設の指定管理業務
に係る実績報告書等の提出について

平成 28 年度における三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設の管理に関する年度協定書第 8 条の規定に基づき、別添のとおり提出します。

平成 28 年度「本港特別泊地及び本港環境整備施設」実績報告書

(グループ代表)
スバル興業株式会社

別紙「平成 28 本港特別泊地、本港環境整備施設収支決算書」のとおり

2 利用料金収入実績

(単位：円)

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金	その他収入		
4 月	330,000	1,177,130	157,590	2,318,586	▲653,866
5 月	320,000	1,839,730	167,890	2,019,164	308,456
6 月	320,000	1,018,700	81,370	2,001,422	▲581,352
7 月	320,000	1,664,450	128,750	1,992,443	120,757
8 月	320,000	1,808,310	200,850	2,189,123	140,037
9 月	320,000	1,183,210	109,180	1,971,023	▲358,633
10 月	320,000	1,261,870	184,370	2,100,545	▲334,305
11 月	320,000	1,036,370	77,250	1,926,732	▲493,112
12 月	320,000	1,241,380	280,160	2,350,300	▲508,760
1 月	320,000	1,055,130	59,740	2,288,103	▲851,233
2 月	320,000	1,097,470	158,620	2,330,605	▲754,515
3 月	318,441	1,169,640	134,930	2,141,456	▲518,445
計	3,848,441	15,553,390	1,740,700	25,627,502	▲4,484,971

3 施設の利用状況

本港特別泊地（ゲストバース）

月	艇数	金額
4 月	117 隻	385,530 円
5 月	239 隻	803,100 円
6 月	118 隻	396,200 円
7 月	238 隻	854,570 円
8 月	216 隻	737,630 円
9 月	123 隻	409,300 円
10 月	139 隻	439,850 円
11 月	81 隻	256,040 円
12 月	69 隻	225,360 円
1 月	54 隻	144,680 円
2 月	54 隻	189,110 円
3 月	63 隻	187,060 円
計	1,511 隻	5,028,430 円

本港環境整備施設（駐車場）

月	駐車場利用数	金額
4月	2,368台	791,600円
5月	3,044台	1,036,630円
6月	1,841台	622,500円
7月	2,345台	809,880円
8月	3,166台	1,070,680円
9月	2,417台	773,910円
10月	2,561台	822,020円
11月	2,077台	780,330円
12月	2,940台	1,016,020円
1月	2,743台	910,450円
2月	2,673台	908,360円
3月	2,763台	982,580円
計	30,938台	10,524,960円

4 施設の管理に関する業務実施状況

(1) 施設の維持管理

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施回数	実施状況
管理	施設の管理を適正に行う 施設内の適正な維持と異常発生時の対応	適宜	適宜	適正に行った
巡視	巡視、異常発見時の処置と安全確保。	午前・午後 1回	毎回実施	適正に行った
清掃	施設及び周辺清掃	1回/2日	毎日実施	適正に行った
植樹林等の維持管理	植栽帯の維持管理 樹木の生育状況点検 病害虫の点検 病害虫の駆除 剪定・除草	1回/年 1回/3月 適宜 適宜	1回/年 4回/年 4回/年 4回/年	適正に行った

保守点検	保守点検、異常発見時の処置	1回～4回 ／年、施設によつて1回 ／月	全ての施設・設備において月1回保守点検を行った	適正に行った ※通常点検は毎日実施した
修繕	施設の保全、維持修繕	適宜	応急的修繕：有 別紙業務日報参照	

(2) 施設の運営に関する業務

	業務内容	事業計画に定める作業頻度	実施状況
受付・案内	利用者の受付・案内、届出の受理	適宜	毎日実施
指導	艇の誘導、悪天時の指導等	適宜	毎日実施 気象情報等は口頭及び掲示で利用者へ伝達

(3) 自主事業の実施状況

収入計 8,188,649 円
 支出計 8,446,594 円
 収支 ▲257,945 円

28年度自主事業収支内訳

項目	収入	支出	収支
自動販売機 (27年度売掛)	75,749	0	75,749
給水サービス	8,500	7,225	1,275
クルージング	167,500	261,616	▲94,116
レンタルBBQサービス	7,657,900	6,892,110	765,790
海王丸特別泊地一部有償提供	279,000	1,019,661	▲740,661
計	8,188,649	8,180,612	8,037

(4) 苦情・意見等

(単位：件)

月	口頭	電話	文書	アンケート	その他	月合計
4月	16	0	0	0	0	16
5月	16	0	0	0	0	16
6月	0	0	0	0	0	0
7月	2	0	0	0	0	2
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	35	0	35
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	2	0	0	0	0	2
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
合計	36	0	0	35	0	71

苦情・意見等の内容	対応状況
<p>・泊地利用料金改定に伴うご意見（4～7月頃） 高い。二度と来ない。</p> <p>・駐車場精算機不具合</p> <p>・泊地夜間利用への要望（恒例）</p>	<p>・艇の大きさに応じた公平な料金改定である旨の説明にて対応。 年度後半からは周知が浸透してご意見の発生は無くなりました。</p> <p>・機器の一斉入れ替えに伴い、誤作動はほぼ無くなりましたが、読み込み磁器損傷によるエラーがまれに発生します。原因は駐車券を携帯電話等の磁器に擦り付けるなどの異常な取り扱いによる不可抗力な原因に限定されます。</p> <p>・規定により9:00～18:00の利用時間をご案内。例外は荒天避難及び機関故障艇である旨の説明を実施。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・曳波被害 有料の係留施設であるので、管理者に賠償責任があるのではないかと？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・港内及び泊地における盗難、事故災害などにおける責任を負えない旨の説明を実施。 海上保安庁への捜査依頼、協力などの実施。 今後は電光掲示板など、より効果の望める注意喚起対策が必要。
--	--

(5) アンケート結果
別添資料参照

(6) 運営上の問題等

- ・三崎漁港内を航行する船舶が起こす曳波による被害が無くなりません。
岸壁からの旗及び拡声器による注意喚起を行っていますが、効果はありません。
本年度は曳波被害によるけが人の発生はありませんでしたが、係留艇の一斉破損被害が発生し、横須賀海上保安部からの協力を経て加害者の限定は出来たものの、損害賠償責任は問えず、利用者が被害を負担しています。
人身事故になる可能性が高い為に、電光掲示板による注意喚起など、より効果が期待される設備の配備が望まれます。

(7) 県との主な連絡調整等の状況

主な報告の手段は日報並びに月次報告書にて行っている。
その他、改善要望点など、ご相談する機会を適宜に頂いております。

(8) 事業計画書に掲げた特色ある取組の実施状況

特別泊地における案内・誘導業務ではノウハウを活かしたサービスを継続して提供しております。防舷材および係留ロープの無料貸し出しも継続して行いました。荒天避難で入港される利用者からも高い評価を頂いております。また、施設の利用については、定められた利用規則及び利用料金を利用者に出来るだけ分かりやすく提示するなど心掛け、平等利用を確保しています。

地域連携への取り組みとして、「三崎・城ヶ島夏まつり」では今年度も実行委員会事務局を務め、周辺地域貢献と施設利用率向上に貢献することが出来ました。当該施設を利用した各種船釣り大会は開催を重ねるごとに定着してきており、新たな利用客層を増やしてきております。

インターネットHP及びSNSの活用として、3月にホームページの一斉リニューアルを実施しました。利用者に対してより分かりやすい案内が出来るようになりました。

(9) その他（自己評価、今後の課題等）

（自己評価）

今年度も大きな怪我人や我々に責のある事故はありませんでした。しかしながら、ヒヤリハット検証では反省すべき事案もありましたので、引き続き安全管理は注意して行っていきたいと思います。

今年度より泊地利用料金が改定され、4月から7月にかけては料金改定に対するご意見を頂くことがありましたが、出来るだけ丁寧なご説明を心掛けましたので、後半にはご意見を頂く回数が無くなり、想定した期間内で周知することが出来たのだと思います。また、海業公社との協同運営体制が開始され、両社の情報共有がスムーズに行われるようになりました。利用者への各種案内及びサービス向上につながる実例が多くありました。

駐車場清算機器が老朽化に伴い、誤作動などの不具合が多発していたが、7月に表示灯を含む機器の一斉入れ替えを実施。（リース）安定した稼働により、不具合の発生は殆ど無くなりました。

(今後の課題)

- ・新設された「うらりマルシェ」と連携した泊地及び駐車場の利用率向上。
- ・平日及び閑散期の利用率向上。
- ・民間経営のノウハウを活かした魅力ある自主事業内容実現へのフレキシブルな取り組み。
- ・夜間における悪戯及び曳波被害に対応する屋外監視カメラの設置。
- ・曳波被害撲滅。
- ・観光バス乗降場所の整備、事故防止。